

おおきなおいものがほれたよ！

保育所 4歳児
【活動日】 10月

ねらい

- 友だちと一緒に身近な秋の自然に触れて興味関心を持つ。
- 経験したことを思い出しながら製作を楽しむ。

活動内容

- ① 芋掘りをして感じたことなどを写真を見て振り返りながら友だちや保育士等と一緒に話す。
- ② 絵本『まてまてからいもさつまいも』『さつまのおいも』を見て、引っ張りごっこ（綱引き、タオル）を楽しむ。



- ③ 大きな紙に思い思いの芋の絵を描く。描きながら「髭がついてた!」「こんな形だった!」などの気づいたことを伝える。



- ④ 作品を見せ合って、声をかけ合い喜ぶ。完成したことの充実感を味わう。



園児の様子

- ① 地域の方と芋掘りをして、友だちや保育士等と経験したことを話す姿があった。
- ② 絵本や給食などで芋が出てくると「あ!さつまいもだ!」と気づいて話題にしている。
- ③ 絵本を見て「どっちが勝つかな?」と引っ張り合いを友だちと挑戦する。
- ④ 芋の大きさや重さ、形について思い出したり実際に見たりしながら絵を描くことを楽しみにする。

指導のポイント

- 芋の出る絵本を見たり実際に触れたりする機会を持ち、子ども達の興味関心を深められるようにする。
- 子ども達の発見やつぶやきを受け止め、一緒に楽しんでいく。
- 「こんな風に描きたい」「こんな所もあった!」など思い出してイメージできるように声をかけていく。

資料

木村 晃彦（2025）『まてまてからいもさつまいも』福音館書店
中川ひろたか（1995）『さつまのおいも』童心社